

留萌ロータリークラブ

会報

2012 ▶ 2013
WEEKLY REPORT



奉仕を通じて
平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

留萌
ロータリークラブ
会長目標

ロータリーを楽しく・
学び・奉仕しよう

会長／山本讓二 幹事／森 幹雄

プログラム

- 本日
来賓卓話 留萌市地域振興部農林水産課
参事 松平 孝様
会員誕生日 4月4日 角 隆巨 結婚記念日 4月3日 佐々木 繁
- 次週予定
来賓卓話 ハローワーク留萌
統括職業指導官 鈴木 浩幸様 配偶者誕生日 4月6日 関野 暁美
上席職業指導官 池田亜希子様

No. 2552

第36回 4月3日

出席報告

前例会

会員総数	42名
出免会員	10名
出免出席	6名
基準会員出席	23名
出席率	72.97%

前々々

第33回 3月6日

欠席会員	10名
内メイクアップ	4名
修正出席率	83.78%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F



会長報告

1. 本日、清水ガバナー補佐、森副会長と私で妹背牛RCを訪問して参りました。IMのPRと出席を要請してきました。
2. 明日28日に理事役員会を開催します。何かと忙しい時期ですが、理事役員の方は出席をよろしくお願いします。

回覧いたします。



幹事報告

- ・赤平RCより4月例会案内を受領しました。
- ・砂川RCより4月例会案内と会報を受領しました。
- ・ハイライトよねやま156号を受領しました。
- ・米山記念館より館報と記念館運営基盤強化のための賛助会員募集の案内を受領しました。



3分間情報

会員研修委員会

福士委員長

本日はロータリー財団「未来の夢計画」の地区ロータリー財団監査委員会について発信します。

新補助金制度に移行することにより、地区の資金管理体制の強化が一層要請されることになりました。これはDDF（地区財団活動資金）のうち最大50%が新地区補助金として地区の銀行口座に振り込まれることやグローバル補助金の1件あたりの金額が大きくなった事などが理由です。地区は地区で監査委員会を設けるか、第三者による監査を義務付けられています。

地区監査委員会を設ける場合の要件は、

- ①少なくとも3名の正会員ロータリアンからなること。これらのロータリアンは、財務に詳しい第三者（プロジェクトの直接関係ない人物）で、それぞれが地区内に異なるクラブで瑕疵なき会員であること。また、その内の少なくとも1名が現役の地区役員、もう1名が元地区ガバナーでなければならない。
- ②地区ガバナーに任命され、地区大会で地区内クラブから承認されていること。
- ③委員のうち少なくとも1名が会計または監査の専門職の経歴を持っていること。
- ④利害対立がないこと。次の人物は委員を務めてはならない。補助金プロジェクト委員会の委員、地区ロータリー財団補助金小委員会の委員、地区ロータリー財団委員長、地区ガバナー・エレクト、直前ガバナー、プロジェクトの連絡担当を務めるロータリアン及び補助金資金を受け取るロータリアン。

【三二情報】

日本版ISAと呼ばれる少額上場株式等に係る配当所得及び譲渡所得等の非課税措置が拡充されます。住居者等による毎年100万円までの非課税口座の開設可能期間は平成26年1月1日から平成35年12月31日までの10年間に延長。配当所得・譲渡所得の非課税期間については5年間に短縮されるが、非課税投資総額は最大500万円に広がります。

ニコニコBOX

- ・還暦を迎えました 行徳会員
- ・新会員工藤様、入会おめでとうございます
一日も早くロータリーに馴染まれる様期待しています 山本会長
- ・山本会長に遊んで頂きました 鈴木会員
- ・良い事がありました 関野、遠藤各会員
- ・留萌に住んで1年になります 原谷会員

前 回 542,200円
今 回 18,000円
累 計 560,200円

=新会員紹介=

工藤 隆会員 昭和18年2月20日生まれ
山藤住宅販売 代表
留萌市野本町133番地1
職業分類 不動産取引業
推薦者 西谷(英)、山本、関野会員

プログラム

「IM準備例会」 実行委員会役割分担

〈総務委員会〉

- ・全体企画及び各委員会との連絡調整
- ・会場予約 産館1階小ホール、議員室、2階大会議室、控え室
- ・収支予算案の作成
- ・会計書類の集計、確認と支払い指示
- ・来賓の対応

〈登録委員会〉

- ・登録案内状、礼状作成・発送、出欠確認
- ・プログラムの作成
- ・ガバナー事務所への案内、確認
- ・当日受付、クロークの表示設置
- ・登録者名札及び来賓用リボン手配
- ・記録作成（会報に特集として掲載）

〈会場委員会〉

- ・会場の設営全般（テーブルの配置、テーマ表示、横一文字、白布）
- ・スクリーンとプロジェクターの準備
- ・ステージ設営（マイク、演台、照明、舞台装飾、生花）
- ・会場前看板
- ・駐車場の確保
- ・休憩時間の1階小ホールの設営

〈接待委員会〉

- 懇親会場の設営
- 料理、飲み物の手配
- 余興の決定と手配
- 懇親会の司会進行
- 来賓控え室の湯茶接待
- 休憩時間の1階小ホール（飲み物、灰皿準備）



第35回 3月27日(水) 天候/晴

(先週の続き)

「日本ハムファイターズ後援会と留萌市応援大使について」

この10周年企画の応援大使ですが、今年が最初の年ですので、何がOKで何がダメなのかまだ全然わからない状況で行なっておりますので、皆さん方で興味のある方は市役所の方にお問い合わせいただければと思います。ぜひこの応援大使の二人を使っていたいただければと思います。このあと留萌市でこの二人を使う企画としては、大きなもので呑涛祭りがありますが、これについては球団の方が別な企画を考えているらしく、この呑涛祭りで何かをやってくれるみたいです。あとは、11月に二人を呼んでサイン会をする事も決定していますし、あと留萌市からは、選手に学校訪問をしていただけないかと、あとは留萌市の観光パンフやポスターに選手の写真を掲載。また、札幌ドームでカズモちゃんの出番を作ってもらいたいなど、例えばホームランを打った時に選手にカズモちゃん人形を渡し、スタンドに投げ入れてもらうようお願い等もしているようです。どこまで実現出来るかわかりませんが努力しているようです。以上、10周年プロジェクトについてお話をいたしました。

最後に後援会についてお話をさせていただきます。留萌市の後援会は今から8年前、当時30名のメンバーでスタートしました。現在は240名の会員となっております。家族の場合は1人が会員となっただけであれば家族全員が会員扱いとなりますので、実質はこの倍以上の会員となっています。日本ハムが北海道に来て3年くらいの間に各市町村で85の後援会が出来ました。

最初の内は球団の方もやれ作れと言っておりましたので、最大規模で300~400人規模の後援会もできましたが、小さい規模では10~20人規模の所も出来ました。小さい所で10人規模であれば仲良しクラブになってしまい、誰でも入れないよと弊害が出てきて、一昨年に後援会をサラにしました。各地区でやっている後援会はいいのですが、球団としては認めないよということで、球団ではオフィシャルファンクラブというものがありまして、年間3000円払うとカードがもらえて、オフィシャルファンクラブに

登録されます。これは毎年色々な特典がありますが、この会員にならなければファンクラブとして認めませんという事になり、現在85あったクラブも現在は32になっております。オフィシャルファンクラブ会員が最低20人いなければファンクラブとして認めないとのお達しがありました。これについては財界さっぽろでも叩かれておりました。しかし正式に認められたファンクラブにはファンクラブの認定書も来ますし、試合前の練習見学というのがあります。オフィシャル後援会の会員さんはこれを見学する事が出来ます。当然、一般の後援会にはこれらの特典はございません。

留萌後援会は現在240名の会員がおりますが、オフィシャルファンクラブ会員として79名が入会しております。会員を20名以上集めなければなりませんので、現在32ある後援会も維持存続が大変でございます。札幌近郊であれば、会員になっても色々特典の恩恵にあずかれますが、例えば入場料が500円位安くなるとか、選手のスペシャルデーで、稲葉選手の何かもらえるとかがありますが、地方からはそのために札幌まで行かなければなりませんので、なかなか恩恵にあずかれません。ですから、20名の正規会員を集めるのが大変な状況になっているのが現状です。ぜひ皆さんもファンクラブへの会員になることを希望します。

今年は、1番・3番バッターがいなくなりましたが、オープン戦もそこそこ頑張っていますので、今年最低でもプレーオフに出られるような3位以内になれば思っております。ぜひ皆さんも今年度日本ハムファイターズを応援していただければと思います。ご清聴ありがとうございました。